

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市南部リハビリテーションセンター	評価対象年度	令和3年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人 三篠会 ・代表者名 理事長 酒井 亮介 ・住所 広島市安佐北区白木町大字小越10230番地	評価者	障害者施設指導課長
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害者施設指導課

2. 事業実績

利用実績	南部日中活動センター 就労移行(定員10名) 契約者 1名、 就労継続B(定員10名) 契約者 9名 生活訓練(定員10名) 契約者 5名、 生活介護(定員 6名) 契約者8名  南部在宅支援室 新規相談件数 300件、 在宅リハ評価訪問 延べ770件																																																								
収支実績	<p><b>南部日中活動センター</b></p> <table border="0"> <tr> <td>収入</td> <td>支出</td> <td>収支差額</td> </tr> <tr> <td>経常活動 74,109千円</td> <td>経常活動 64,287千円</td> <td>9,822千円</td> </tr> <tr> <td>給付費 15,127千円</td> <td>人件費 42,476千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>川崎市単独扶助 2,109千円</td> <td>事務費 14,181千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定管理委託料 0千円</td> <td>事業費 5,959千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>拠点区分間繰入 56,000千円</td> <td>拠点区分間繰入 0千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他 873千円</td> <td>その他 1,671千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>施設整備等 0千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計 74,109千円</td> <td>合計 64,287千円</td> <td></td> </tr> </table> <p>※端数処理のため合計が一致しないことがあります。</p> <p><b>南部在宅支援室</b></p> <table border="0"> <tr> <td>収入</td> <td>支出</td> <td>収支差額</td> </tr> <tr> <td>経常活動 73,529千円</td> <td>経常活動 61,956千円</td> <td>11,573千円</td> </tr> <tr> <td>給付費 0千円</td> <td>人件費 49,565千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>川崎市単独扶助 0千円</td> <td>事務費 7,749千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定管理委託料 73,505千円</td> <td>事業費 0千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>拠点区分間繰入 0千円</td> <td>拠点区分間繰入 0千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他 24千円</td> <td>その他 4,642千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>施設整備等 0千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計 73,529千円</td> <td>合計 61,956千円</td> <td></td> </tr> </table> <p>※端数処理のため合計が一致しないことがあります。</p>			収入	支出	収支差額	経常活動 74,109千円	経常活動 64,287千円	9,822千円	給付費 15,127千円	人件費 42,476千円		川崎市単独扶助 2,109千円	事務費 14,181千円		指定管理委託料 0千円	事業費 5,959千円		拠点区分間繰入 56,000千円	拠点区分間繰入 0千円		その他 873千円	その他 1,671千円			施設整備等 0千円		合計 74,109千円	合計 64,287千円		収入	支出	収支差額	経常活動 73,529千円	経常活動 61,956千円	11,573千円	給付費 0千円	人件費 49,565千円		川崎市単独扶助 0千円	事務費 7,749千円		指定管理委託料 73,505千円	事業費 0千円		拠点区分間繰入 0千円	拠点区分間繰入 0千円		その他 24千円	その他 4,642千円			施設整備等 0千円		合計 73,529千円	合計 61,956千円	
収入	支出	収支差額																																																							
経常活動 74,109千円	経常活動 64,287千円	9,822千円																																																							
給付費 15,127千円	人件費 42,476千円																																																								
川崎市単独扶助 2,109千円	事務費 14,181千円																																																								
指定管理委託料 0千円	事業費 5,959千円																																																								
拠点区分間繰入 56,000千円	拠点区分間繰入 0千円																																																								
その他 873千円	その他 1,671千円																																																								
	施設整備等 0千円																																																								
合計 74,109千円	合計 64,287千円																																																								
収入	支出	収支差額																																																							
経常活動 73,529千円	経常活動 61,956千円	11,573千円																																																							
給付費 0千円	人件費 49,565千円																																																								
川崎市単独扶助 0千円	事務費 7,749千円																																																								
指定管理委託料 73,505千円	事業費 0千円																																																								
拠点区分間繰入 0千円	拠点区分間繰入 0千円																																																								
その他 24千円	その他 4,642千円																																																								
	施設整備等 0千円																																																								
合計 73,529千円	合計 61,956千円																																																								
サービス向上の取組	・南部リハビリテーションセンター内の各施設が一体的に運営されることを目指し、特に地域支援室と在宅支援室のケースワーカー・ソーシャルワーカーにてケースの支援方針の相談・検討を行い、役割分担等を調整するなど連携を図っている。 ・日中活動センターでは、北部日中活動センターや他の事業所の見学や実習を行い、リハビリテーションセンター内の事業所としての運営や連携の方法、プログラム作成の考え方、利用者への関わり方など、利用者への質の高い支援を提供するための支援方法の検討を行った。																																																								

3. 評価 (評価段階:5→1,標準:3,加点割合:5→100%,4→80%,3→60%,2→40%,1→0%)

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	3	6
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	3	6
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
(評価の理由) ・日中活動センターでは地域の支援者との繋がりを構築するため、事業内容やプログラム、看護職員の配置による医療的ケアの必要な方の受け入れ可能体制など、具体的な内容を伝え、利用者確保に努めた。 ・障害種別でわけることなく、多様な障害の方を受け入れる体制を確保している。また、多機能型のメリットを活かし、事業を越えた活動プログラムの提供や職員の連携などにより、利用者の多様なニーズに応えている。 ・在宅支援室では、地域支援室とも連携を図るとともに、開設1年目ということもあり、地域の連絡会や報告会に参加し、普及啓発を図り、他事業所と繋がる機会を確保し、相談につなげることができた。					
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	3	3
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	3	3
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	3	3	
	事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
(評価の理由) ・支出決算額については、概ね予算通りの支出となっている。 ・日中活動センターでは、開設1年目及びコロナ禍もあり、利用者が伸び悩み、法人からの繰入金で不足する費用の補填をしている。 ・社会福祉法人の会計基準に基づき適正に会計処理が行われている。					

サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか 利用者への支援を適切かつ十分に行っているか	10	3	6
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	3	3
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
	利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	3	3
利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか					
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日中活動センターでは、利用者ごとに担当職員を配置することで、相談しやすい体制を確保するとともに、細やかな事前アセスメントを行っている。また、必要に応じて在宅支援室のソーシャルワーカーをはじめ、医師の診察や理学療法士、作業療法士、心理職等が介入し、より専門的なアセスメントを実施している。</li> <li>・在宅支援室では、可能な限りリハビリテーション科医師の診察を入れ、すべての職員が共通理解、共通の目標や支援方針を持てるよう、関わるケースについては全員カンファレンスを実施し、外部の地域支援者とも連携し、支援終了の際には、在宅支援室の介入が無くとも地域生活が本人の思う方向へ進むよう書面や写真を活用し、必要な資源に繋げた。</li> <li>・開設した当初は、その存在が知られていないこともあり、外部の関係機関等を訪問するなど、認知度の向上や今後の事業展開に繋げるための取組を行うとともに、ふくふく内の各機関や他のリハビリテーションセンターとも連携会議等を通じて、知識の向上等を図っている。</li> <li>・在宅支援室会議をリハビリテーション科医師やスーパーバイザーも含めた全職員で実施し、すべての利用者の進捗確認、及び職員の介入状況の確認を行い、情報共有を図っている。</li> </ul>					
組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	3	3
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	3	3
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	3	3	
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各施設において、職員のスキルアップのための各種研修へ参加できる体制を取っており、研修を通じた業務知識等の向上が図られている。</li> <li>・建物全体の消防計画にもとづく避難訓練に参加することですべての施設が安全かつスムーズに避難できる体制を整え、安全意識の更なる向上を図っている。</li> </ul>					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	3	3
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	3	3
	<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複合福祉センターは官民複合施設であるため、川崎市複合福祉センターふくふく管理組合を構成し、施設の維持・保守管理については管理組合が行っている。また、その管理費は所有区分等の割合によりそれぞれ負担している。</li> <li>・物品購入などは法人のスケールメリットを活かして共同で行っている。</li> </ul>				

#### 4. その他加点

分類	項目	着眼点			評価点
その他加点	市の政策課題への取組	第三者へ一部の業務委託を行う際の市内中小企業者の受注機会の確保・拡大や地域包括ケアシステムの構築に向けた取組への協力、障害者の法定雇用率を越える雇用などを行っているか			0
	(評価の理由)				

#### 5. 総合評価

評価点合計	60	評価ランク	C
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A~E,標準::C,A→80点以上,B→70点以上80点未満,C→60点以上70点未満,D→50点以上

A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

#### 6. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

・日中活動センターでは、生活系事業・就労系事業という認識で支援することで、事業を越えた活動内容の提供や職員の連携など、柔軟な支援を行っている。また、在宅訪問やサービス担当者会議等の各種会議、研修に積極的に参加し、多職種で連携することで、利用者だけではなく家族への支援も含めた生活全般について包括的な支援に努めている。

・在宅支援室では、複合福祉センター内外の多くの関係機関と連携し、認知度の向上を図り、そのことで相談につなげた。また、南部地域で不足していた高次脳機能障害の相談に開所時から対応し、精神障害者手帳の取得にあたり、主治医に同行受診するなど本人に寄り添った丁寧な支援を行っている。

#### 7. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

・日中活動センターは、開所1年目ということもあり、定員に対して利用登録が少なく、安定した利用に繋がらなかったが、医療的ケアにも対応できることなどの強みを発信し、利用者の確保に努めること。

・在宅支援室は、南部地域の専門機関・三次相談機関として、地域の支援ニーズに応えられるよう、地域への啓発活動や支援機関との信頼関係・支援関係構築をより強化していくこと。